

紫陽花が色を変える様に

川崎医科大学衛生学 大槻 剛巳（6期）

同窓生の皆さま、ワールドカップと大相撲の賭博事件などで、参議院選挙の話題も薄れるほどの初夏に原稿をしたためています。第6期生、大学に残っております、そして衛生学という（一応本学の中では）応用医学というジャンルで働いています大槻剛巳と申します。

昨年度（2009年度）から大学要職のメンバーが改変されて、学長には放射線（核医学）医学教室の福永仁夫先生がご就任になり、大学運営委員会メンバーも変更になりました。

副学長には、まだ50代前半（ボクよりもお若いです）の神経内科学の砂田教授が教務担当として、腎臓・高血圧内科の柏原教授が研究担当として就かれまして、総務担当の川崎誠治副理事長（兼務なのですよね…副院長も兼務されてらっしゃいます）は留任されて、この4人が大学の舵取り役割で日々努力をなさっています。

他には、角田院長、佐々木図書館長（前研究担当副学長）が大学運営委員会メンバーでいらっしゃいますし、自然科学（生物）の益田先生が学友会、高大連携等担当で学長補佐職として、そして同窓会員でもいらっしゃいます耳鼻咽喉科原田教授は学生担当、更に血液内科学杉原教授も倫理委員会等担当という学長補佐として大学の向上への推進役として大学運営委員会メンバーでいらっしゃいます。

そしてどういう訳か、私も福永先生よりのお声かけによって大学連携、産学官連携、広報、医学会等担当学長補佐という役割を担うってことで、学長補佐職を拝命し、大学運営委員会メンバーに入らせていただきました。

どうして私などにこんな大役が回ってきたか？ って…。運営委員会の他のメンバーの方は、本当に本学のいろんな面での向上に関して、直接的に関わっていらっしゃいます。それは上記しましたそれぞれの役割を担われて、日々、種々の問題に正面から対峙されていて、一歩ずつでも大学が良くなる様にと、本当に日々努力をなさってらっしゃいます。ただ、私の行っております大学連携とか産学官連携と云う役割は、まあ、ぶっちゃけて申しますと、岡山県にある大学ということでどうしてもいろんなお付き合いで、種々の組織に名前を連ねないとなりません。例えば、岡山県産学官連携推進会議であるとか、大学コンソーシアム岡山であるとか、川崎医科大学が団体会員であったり、あるいは学長先生が個人会員であったりということが多いのです。それで、そういった組織などでは、年度ごとで事業を行ったりしていますと一つひとつの組織としてはそれほど多い回数でもないのですが、でも、会議とか総会だとか一応の集まりを設けなければなりません。その際に、川崎医科大学はいつも欠席という訳にも行きません。それで白羽の矢を立てるのにお考えになれるのは、まずは診療でご多忙の臨床系の先生をその役に充てることは出来ないってこと、そして



まあ教室員がしっかりしていて人数もそこそこ居て、教授とかであってもどうも日々何をしているのか分からない、ひょっとして教授室に設置しているYAMAHAの電子ピアノと、長男から奪ったエレキギターと、PCに入っている録音・打ち込み・音色変換などが出来るProToolsってソフトを使って音楽ばかりやっていそうな、つまり、大学の本来の仕事をあまりしてい無さそうで…卒業生だから「母校のため」と云えば断りそうもない（「後輩のために」って云われると学年担任を断れないのと一緒に…こう考えますと、本当に体よくやらされているって感じですが）基礎医学（冒頭に記しました様に時に応用医学と云われたり基礎医学って云われたり、蝙蝠的に使い分けられて仕事を振られがちな教室ですが、支給されるユニフォームはブルー衣なのでまあ広く基礎医学とみられているんだなあ…て、応用医学ってジャンルを作って、なんだか、違うよってくすぐられているだけかな？ なんて思いますが、それはさておき、）に所属している者で…きっとそんな事情で福永学長からお声かけを頂いたのでしょうか、そうなりますとやっぱりNOとは云えず…肅々と業務をこなしております。



どんなことをしているのか？ って、そうですね、一例として今年の5月後半からの予定表を振り返ってみます。

- 5月17日(月) 毎週の大学運営委員会、夜は大学役職者と学生の懇談会（まあメシ会ですが）
- 18日(火) 岡山県企業誘致推進協議会総会（岡山県庁）
- 19日(水) 岡山オルガノン（大学連携プロジェクト）第1回e-Learning運営委員会（岡山理大）
教授会、学生総務委員と大学要職者の意見交換会
- 20日(木) おかやま生体信号研究会企業会員誘致活動2社訪問（総社市）
メディカルテクノおかやま役員会（岡山大学医学部）
- 21日(金) 岡山オルガノンの一環で学内授業を岡山大学にLIVE配信
岡山オルガノン第1回代表者委員会（岡山理大）
- 24日(月) 毎週の大学運営委員会
- 25日(火) 大学コンソーシアム岡山の会議（岡山商大）
- 26日(水)～28日(金)
福井で日本産業衛生学会（これは勿論、本来業務（？）ですが）一ただ、分科会、座長、口頭発表、厚生労働省のとある班会議などでビッシリスケジュールの上、帰路途中で共同研究の打ち合わせで大阪に途中下車でした）
- 31日(月) おかやま生体信号研究科第3回例会（川崎医大・医療福祉大主催）（於：川崎医療福祉大）
- 6月1日(火)（創立記念日）岡山産学官連携センター第1回運営委員会（テクノサポート岡山（岡山空港の近く））
- 2日(水)（岡山県）産業戦略プロジェクト委員会（岡山大学津島キャンパス）
- 3日(木) 倉敷市国際交流協会総会（倉敷市庁舎）
- 4(金)～5日(土)
科学技術フェスタin京都（内閣府等主催の産学官連携推進会議）に川崎医科大学としてブース出展、講演等の視聴（京都国際会館）
- 7日(月) 毎週の大学運営委員会
- 8日(火) 大学コンソーシアム岡山の社会人事業部会（岡山商大）
- ～～～
ここで暫く空いて

ってな具合です。でも、きっと同窓生の先生方の中で医師会の要職や種々の大きな病院の経営などをなさってらっしゃる先生はもっともっと御多忙なんだろうなあって思いますので、バタバタと動き回っているだけという感じです。記載した中で、日本産業衛生学会と大学の運営委員会以外では配布された資料と参加報告書を大学庶務ならびに学長先生には提出させていただいております(時間節約のために会議中にnote PCで書記の様に議事録を作成しておりますが)。

ただ学会等の関係で、ここ数年続けております日本免疫毒性学会の事務局、日本衛生学会の和文誌編集委員長の役割、日本臨床環境医学会の編集委員としての仕事が舞い込んできます。更に学内では副学長補佐として4年生の学年担任をしたりしておりますが、これについてはもう6年目に入りましたし、上記の様にあまり学内に居ないことが多いのは、学生諸子のちょっとした変化を見落とさないように注意しておかなければならない役として非常に至らない部分が(自分なりに)目立ってきていますので、そろそろ有望なもっと若い先生にお譲りしないと、と思っております。それと大学運営委員会メンバーは人事委員会メンバーでもありますので、これも相当数会議が設けられますので、そのスケジュールに振りまわされている現状でもあります。

こんな風に虚ろなままに日々が過ぎて行き、役職名に押しつぶされることにおびえながら、でも実際には、押しつぶされる前に次の予定の会議へと飛び回っているという現状です。紫陽花が色を変える様に、会議々々で適当に見せる顔を変えながら…ただ云えることは、医科系単科大学が顔を見せる方向が医療医学の領域だとすると、私が担っておりますのはそこは少し違ったベクトルの集まりばかりですので…気楽にやっています。それが証拠に学外に行く度に「ちょっと寄り道/ブラ@タケミ」と称して、道中の小さな神社などに立ち寄って教室ホームページのために写真を撮ったりして…その様子を是非ホームページをご覧ください。検索エンジンで「川崎医科大学衛生学」でクリックしていただければすぐにヒット致します。



どこかで誰かがこんな役もしていますってこと、あるいは大学という組織のある側面でこんないろんな組織などに関連していますってこと、御存知いただければいいのかなって、そんな想いで書き連ねてみました。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。